構想集合住宅。

ーみんなで創る空中のすまいー

0．問題提起 / 高層住宅の空き住戸問題

取り壊しが困難な空き高層住宅問題は深刻ではないだろうか
高層建築物をただの箱にしないためにはどうすればよいのか

1．対象 / 芦屋浜シーサイドタウン

○工業化高層住宅群

芦屋浜シーサイドタウンは、人口増加の時代であった 1974 年
兵庫県芦屋市東浜の埋め立て地地に誕生した、高層住宅地区で。
住宅難の工業化工法の開発推進、民間分住宅のコスト低下、
活動の住生活の向上を目指し計画された。
同時に、新しい時代の環境都市を目指す実験的な都市計画でもあった。

2．建物の構成と構造

○構成 / 共用階と住戸階

配置図

構成図

○空中公園 / 住民の共有スペース

○構造 / 住戸と構造体の分離

3．現在の問題 / 希薄な近隣関係

○誰のものでもない空中公園

○年齢層とライフスタイルの変化

○顔の見えない住戸配置

空中公園（現在）

4．提案 / 生き続ける建物

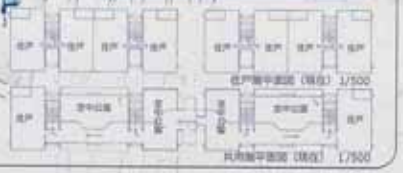
Step ①　近隣関係の再構築
/ ラックによる空中公園の改修

○ラックの設置 / 空中公園を住戸の一部に

○活動の拠点 / 掲示板

○動線計画 / 必ず通る空中公園を活かす

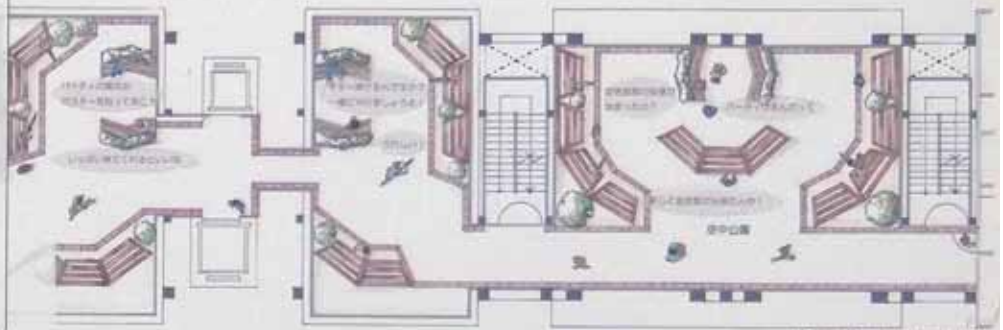
○ラックの配置 / 各住棟配置の再現



住戸階平面図（現在） 1/500

共用階平面図（現在） 1/500

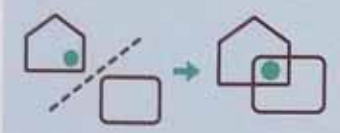
1 3階（住戸階）平面図 1/100



1 2階（共用階）平面図 1/100

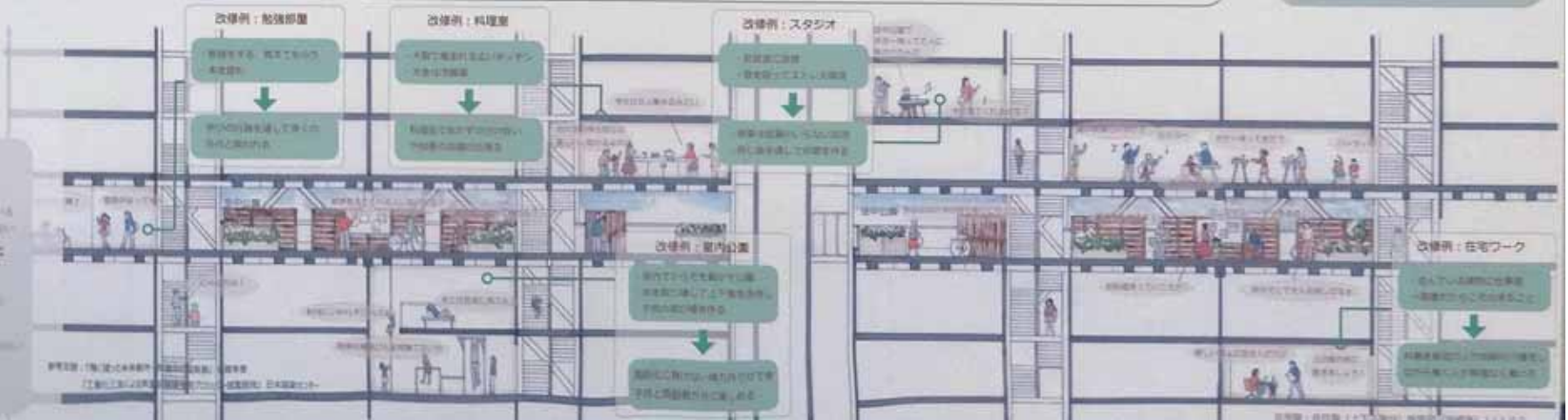
Step ② 住民の意識改革

空中公園のラック＝共有の中の私有



住民の生活範囲の意識を広げ、住戸だけでなく
空中公園・建物全体を自分の場所という意識に変える

空中公園での情報交換

Step ③ 活動の場
/ 空き家を活き家に

○活き家を自分たちのために使う
○開発の段階を重ねられるのは高層住宅ならでは
＋
人が減っても高層住宅は生き続ける